

発行所・責任者：(一社) 山口県安全運転管理者協議会 ☎083-973-1578

〒754-0002 山口県山口市小郡下郷 3560 番地 2 (山口県総合交通センター内)

[責任者] 高山龍夫 [奇数月/10日発行] <https://www.yamaguchi-ankan.or.jp/>



県内の交通事故

12月31日現在 ※()内は前年同期

発生 2,152件 (2,269)
[増減] -117件

死者 51人 (35)
[増減] +16人

傷者 2,535人 (2,699)
[増減] -164人

交通安全県やまぐちの実現を目指して

代表理事 高山龍夫



新年明けましておめでとうございます。

会員、関係機関・団体の皆様には、ご家族ともども、輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年はコロナ禍からの回復と正常化の年となり、社会経済活動も本格的に動き出しました。一方で働き方改革関連法に基づく時間外労働の上限規制や日本版ライドシェアの導入など、交通を取り巻く環境が大きく変化する節目の年でもありました。

このような変動の激しい環境の中にあっても、山口県等が実施する交通安全運動への参加は勿論のこと、法定講習をはじめとする各種講習会や研修会を無事開催することが出来、安全運転管理者選任事業所従業員の方々への交通安全意識の高揚等にも寄与することが出来ました。これもひとえに、各地区協議会をはじめ、会員事業所の皆様等のご支援、ご協力の賜物であり、心から感謝の意を表する次第であります。

さて、本県では「交通安全県やまぐち」を実現させ、交通事故の無い安全安心な社会を構築さ

せる目的で、令和3年度から令和7年度までの5か年を計画期間とする「第11次山口県交通安全計画」に基づき、「交通事故死者数を年間36人以下、

交通事故重傷者数を年間

390人以下」とする目標を掲

げ、高齢者や子供の安全確保をはじめとする各種交通安全対策を推進しております。

しかしながら、昨年の県内の交通事故状況を顧みますと、依然として交通事故により、多くの尊い命が失われており、とりわけ交通死亡事故者数に占める高齢者の割合が非常に高い水準で推移するなど、極めて厳しい情勢であります。

本県におきましては、高齢化が全国に比べ10年速いペースで進んでいると言われており、今後も一段と高齢者の割合が高まる情勢の中、引き続き、高齢者が関与する交通事故の多発が懸念されます。

県協議会といたしましては、「第11次山口県交通安全計画」の目標達成に向け、一層、気を引き締めて交通安全対策に取り組み、1件でも悲惨な交通事故を減少させるべく、引き続き、各市町、関係機関・団体の皆様と連携した広報啓発活動をはじめとする交通安全対策を積極的に推進して参りますので、皆様には、本協議会の取り組みに対しまして、より一層のご支援とご協力を賜りますようお願いを申し上げます。

結びに、各協議会の益々のご発展と、皆様方及びそのご家族のご健勝とご多幸、そして、会員事業所の益々のご繁栄を祈念致しまして、新年の挨拶とさせていただきます。



新年のごあいさつ

山口県警察本部長 熊坂 隆



令和7年の輝かしい新年を迎え、謹んでお慶びを申し上げます。

一般社団法人山口県安全運転管理者協議会並びに各地区安全運転管理者協議会の皆様方には、平素から警察行政各般にわたり格別のご理解とご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。また、各事業所における安全運転管理の徹底と各地区における交通安全意識の向上に向けた活動を推進していただいておりますことに、重ねてお礼を申し上げます。

さて、昨年の県下における交通事故死者数は、51人で一昨年と比べ16人増加しています。

交通死亡事故の特徴を見ますと、死者のうち65歳以上の高齢者は、38人で全死者の約7割を占め、高齢者が関与する交通死亡事故の増加が顕著となっており、高齢化率が高い山口県において、高齢者の交通事故防止対策が重要な課題となっています。

また、横断歩道を横断中の交通事故で8人の方が亡くなられているほか、夜間における自動車対歩行者の交通事故で亡くなった歩行者全員が反射材未着用という実態が認められます。

このような情勢を踏まえ、県警察では、高齢者の交通事故防止対策を重点に、反射材・ハイビームの活用促進、速度抑制対策に取り組み、さらには、横断歩行者保護の徹底を目的とした「横断歩道ハンドサイン運

動」により、運転者、歩行者双方の交通安全意識の高揚を図ったほか、年末には、薄暮・夜間を中心とした交通事故多発時間帯にパトカー、白バイの集中運用による取締り等を強化し、交通死亡事故抑止に努めたところであり、本年も引き続き、情勢に応じた各種の対策について、総力を挙げて取り組んでまいります。

皆様方におかれましても、多くの尊い命が交通事故で奪われている厳しい情勢をご認識の上、安全運転管理者を通じて従業員に対する交通安全指導等を徹底していただきますとともに、地域・職域における交通安全の牽引役として、地元警察や関係機関・団体との連携による交通安全活動を展開していただき、地域住民の皆様が、一層、交通安全意識を高めることができるよう、引き続きのご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。

結びに、一般社団法人山口県安全運転管理者協議会並びに各地区安全運転管理者協議会の益々のご発展と、皆様方のご健勝、ご多幸を心からお祈り申し上げまして、新年の挨拶とさせていただきます。

2月の 目標

運転者の健康管理の徹底 安管未選任事業所の一掃



実施事項

- ▶ 朝礼・点呼時の健康チェックの強化
- ▶ 運転者のストレス等への配慮
- ▶ 未選任事業所に対する届出の勧奨

3月の 目標

高齢者の交通事故防止県民運動（9日～15日） 運転管理支援ツールの活用 マイカー通勤の事故防止



実施事項

- ▶ こども・高齢者に対する「思いやり運転」の実践
- ▶ こども・高齢歩行者を守る気運の醸成
- ▶ ドライブレコーダーを活用した指導
- ▶ 新入社員（若年ドライバー）への指導体制の整備

運転管理体制の見直しと 運転管理支援ツールの活用

1 管理体制の振り返りと効率の良い管理体制の構築

管理体制を振り返り、上手くいった点・いかなかった点を洗い出し、その結果をもとに、効率良く管理を行うために、無駄な制度やルールがないか見直しましょう。

2 ドライブレコーダーの映像を活用した指導

ドライブレコーダーの映像は、運転者指導の教材として活用できることから、映像を見ながら運転のアドバイスを行うといった実践的な指導を行きましょう。

3 テレマティクスの導入

運行状況等を遠隔で管理できるテレマティクスを導入して、安全運転管理をすすめるうえでの問題改善等に役立てましょう。

県下統一行動日

- 2月5日（水）
「横断歩道ハンドサイン運動推進」を呼びかける日
- 3月10日（月）
「反射材・ハイビームの活用」を呼びかける日
- 3月15日（土）
「高齢者の交通事故防止」を呼びかける日

安管統一行動日

- 2月10日（月）
業務用車両一斉点検
- 3月26日（水）
「スピードダウン」を呼びかける日

月間行事計画

- 3月21日（金）
予算理事会

エコドライブのチェックアドバイス ～車間距離にゆとりをもって、 加速・減速の少ない運転～

走行中は、一定の速度で走ることを心がけましょう。車間距離が短くなると、ムダな加速・減速の機会が多くなり、市街地では2%程度、郊外では6%程度も燃費が悪化します。交通状況に応じて速度変化の少ない運転を心がけましょう。

**エコドライブは、環境にも経営にもやさしい
何よりも、交通事故防止につながります**

交通安全スローガン

住みよい山口 いつも心に 交通安全



宇部
安全運転管理者協議会
会長
仲田 眞一
(副会長)

新年明けましておめでとうございます。
会員の皆様には、日頃より事業所の安管活動を通じて、職場の交通安全運転管理や地域社会の交通安全啓発活動にも熱意ある活動をされておられることに敬意と感謝申し上げます。また、協議会の活動にもご理解とご協力頂き誠にありがとうございます。
昨年は、6年ぶりに交通死亡事故が増加に転じ、その中でも高齢の歩行者や運転者の方々がお亡くなりになるという交通死亡事故が多発するなど、大変憂慮すべき状況にあります。
今年も皆様と共に、職場からの交通事故は絶対に起こさないという信念を持って、安全・安心な交通社会を築くよう頑張ります。終わりに皆様のご健勝でご活躍されますよう祈念申し上げます。



山口南
安全運転管理者協議会
会長
若崎 英紀
(副会長)

新年明けましておめでとうございます。
皆様方には、平素から事業所内の交通事故防止活動をはじめ、地域における交通安全活動に対し、深くご理解とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。
依然、マスクが外せない生活が続き、マイコプラズマ肺炎も猛威を振っています。オンライン講習会やWeb面談等、仕事の仕方などもどんどん変化し精度が高まっています。
昨年は、年間スローガン「住みよい山口 いつも心に 交通安全」と題して、街頭での活動を中心にご協力頂き感謝申し上げます。飲酒が伴う痛ましい交通事故から、アルコール検知器を活用した運転者の酒気帯び確認が義務化されました。更には、自転車通達の保険加入も義務化され、事業所・職場での更なる徹底が必須となります。本年も、更に「思いやり」「譲り合い」の心を持って、交通安全活動にご支援ご協力をお願い申し上げます。
結びに、各事業所の益々のご発展と皆様方のご多幸ご健勝をお祈りし、新年のご挨拶とさせていただきます。



岩国
安全運転管理者協議会
会長
恵良 正明

謹んで新春のお慶びを申し上げます。
さて、3年前千葉県で発生しました飲酒運転死亡事故を受け、安全運転管理者の選任、業務の拡充、アルコール検査の義務化等道交法の改正がなされました。これを契機として管理者の存在が大きく脚光を浴び、安管選任事業所の届出が急増しました。これにより飲酒運転撲滅の気運が醸成されたかに思います。
しかしながら、2000年をピークに年々減少していた飲酒運転事故は、2023年には、8.3%の増加に転じ、依然として飲酒運転の根絶に至っていないのが現状です。
飲酒運転の撲滅が叫ばれている昨今、飲酒事故が増加に転じたという事実を安全運転管理者の皆さんが共有し、強い危機意識を持って更なる取り組みに邁進せねばなりません。
皆様の一層のご努力により、飲酒運転の撲滅に取り組みしましょう。本年のご活躍を期待しております。



岩国北地区
安全運転管理者協議会
会長
二階堂 哲治

新年明けましておめでとうございます。
旧年中は、当協議会の交通安全活動にご尽力を賜り、心よりお礼を申し上げます。
さて、全国的にも高齢者が関与する交通事故が多発しています。地域での高齢者への安全指導と高齢者への思いやりの心で交通事故から守る運転を実践する必要があると考えます。地域全体で交通安全活動を行うことによって、悲惨な交通事故が一件でも減少できるように願っています。
終わりに、各事業所の益々のご発展と従業員の皆様のご健勝を心よりお祈り申し上げます。



岩国西地区
安全運転管理者協議会
会長
今井 豊

新年明けましておめでとうございます。
日頃より、当協議会の活動にご理解とご協力を賜り厚く御礼を申し上げます。
昨年11月1日に自転車運転の交通事故を抑制するため、新しく罰則規定が整備されました。運転中のスマートフォン操作並びに画面注視、酒気帯び運転のほか、酒類提供や同乗・自転車の提供に対して法整備が変わり、気軽な乗り物から社会的責任を伴う乗り物になり、今以上に気を付けて運転をしなければなりません。これは自転車に関わらず、すべての運転に対して日頃から安全運転を心がけ余裕を持って運転をすることが重要と考えます。
事故が一件でも少なくなる社会になるよう切に願ひ、皆様のご健康とご活躍を祈念申し上げます。



柳井
安全運転管理者協議会
会長
山内 治

新年明けましておめでとうございます。
平素から、当協議会の交通安全活動につきましては、ご理解とご支援、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。
全国の交通事故死者数は、毎年のように3,000人弱の方の尊い命が失われています。その中でいつも目にする言葉は「飲酒運転」と「高齢者ドライバー」という文字です。交通事故数、死者数を更に減少するためには、色々な交通安全対策をする必要があり、安全運転管理者の教育も必要になってくるでしょう。交通安全活動については、できることから少しずつでも進めていきたいと思います。これからも皆様方のご協力を頂き死亡事故が昨年より1件でも少なくなりますよう、交通安全活動を進めて参ります。
各事業所、または会員各位の本年のご活躍、ご多幸を祈念して新年のご挨拶と致します。



大島地区
安全運転管理者協議会
会長
高木 毅

新年明けましておめでとうございます。
皆様方には、平素から当協議会の運営や交通安全活動に深いご理解とご支援を賜り厚く御礼を申し上げます。
昨年、大島地区では3年ぶりとなる交通死亡事故が発生致しました。交通死亡事故件数は減少傾向にありますが、1件でも減らすことを目標に「ハンドサイン運動」「スピードダウン運動」を推進していく所存であります。今後も引き続き事業所における安全運転管理の徹底をはじめ、事業所それぞれが交通安全活動のリーダーとして模範を示して頂くことをお願い申し上げます。
本年も各事業所の発展と皆様のご健勝を祈念し、年頭の挨拶とさせていただきます。



平生地区
安全運転管理者協議会
会長
藤永 真一

新年明けましておめでとうございます。
平素より、当安全運転管理者協議会の活動に対しまして、ご理解ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。
さて、昨年はスタートより、各地の自然災害、地震や大雨、大風に猛暑という厳しい日が続きました。また、世界情勢も混沌としており、今後も気になるところです。
このような中、交通事故も高齢化を背景に多発しており心配なところです。悲惨な事故が一件でも減少するよう交通安全活動を進めて参りたいと思っておりますので、皆様のご協力をお願い申し上げます。
終わりに、皆様のご多幸を心よりお祈り申し上げます。



光
安全運転管理者協議会
会長
古川 雅之

新年明けましておめでとうございます。
平素より、当協議会の交通安全活動に、ご尽力、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。
さて、昨年を振り返りますと、飲酒や速度超過による事故、高齢者による踏み間違い事故など、事故が絶えることがなく、残念ながら光署管内におきましても、事故件数・負傷者数ともに減少傾向ではありませんでした。本年度は1件でも交通事故の減少を目指し、昨年以上の活動を行っていきたく思います。
本年度の目標ですが「スピードダウン運動」「ハンドサイン運動」を推進することにより、車両の速度を抑え、歩行者の安全確保に努め、1件でも事故を減少させていき、安全・安心な街づくりを目指すため、会員事業所様及び地域の関係団体と共に、交通マナーの向上に努めて参りたいと思っておりますので、ご協力を願ひ致します。



下松
安全運転管理者協議会
会長
今治 総一郎

新年明けましておめでとうございます。
皆様方には、平素より当協議会の活動にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。
昨年は、正月早々の石川県の地震で大変な年明けになりました。災害に対する備えを考えさせられるお正月でした。
さて、昨年11月1日に自転車に対する改正道路交通法が施行されました。気軽な乗り物である自転車ですが、一歩間違えれば自動車と同様相手に怪我を負わせたり、死亡事故に至るケースもございます。
みんなが安心して、道路を使用出来るよう今後も安全安心な交通社会の実現に取り組んで参りましょう。



周南
安全運転管理者協議会
会長
岡寺 信政

新年明けましておめでとうございます。
皆様には、平素から当協議会の運営にご理解とご支援を賜りましたことに、心から感謝と御礼を申し上げます。
今年は、死亡事故ゼロとなるよう努力して参ります。そのためには、各事業所の従業員並びに家族の意識を向上して行かねばなりません。事故は一瞬で起こり、その後処理して回復するには長い時間が掛かります。みんなが幸せて過ごせるよう、ご協力よろしく願ひします。



防府
安全運転管理者協議会
会長 田中 康一

新年明けましておめでとうございます。
本年も、講習会や情報提供を通じて、皆様が実効性のある安全運転管理を行えるよう全力でサポート致します。
また、地域全体での交通安全意識の向上を目指し、関係機関と連携しながら活動を展開して参ります。安全運転管理者の役割は、益々大きくなっていきますが、皆様には、企業リスクの中の「交通事故の位置付け」を事業所の皆様によく理解させ、安全運転の重要性を再認識させて頂くことを希望するところでございます。本年も更なるご尽力を賜りますようお願い申し上げます。



山口
安全運転管理者協議会
会長 山村 賀津美

輝かしい新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。
会員の皆様方には平素より、当協議会の交通安全活動にご理解・ご協力を賜り、心より感謝と御礼を申し上げます。
昨年、山口県内における交通事故死者数は増加に転じ、高齢者が関与する事故も依然として高い水準で推移し、高齢者交通死亡事故多発警報が発令されるなど憂慮すべき状況であります。
また、自転車による事故も多く発生しているなか、自転車の利用に関しては、ヘルメット着用や自転車損害賠償責任保険等の加入など山口県自転車利用促進条例が制定され、ながら運転や酒気帯び運転の新たな罰則の道交法も施行されました。会員の皆様方には、今後もより一層の交通ルールの確認と安全利用に向けた取り組みと引き続きのご支援、ご協力をよろしく願ひ申し上げます。
終わりに皆様方のご健勝とご多幸をお祈り申し上げまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



阿東地区
安全運転管理者協議会
会長 岸田 潤三

新年明けましておめでとうございます。
会員の皆様には、当協議会の活動につきまして、ご理解、ご協力をいただき厚く御礼申し上げます。
阿東地区は、国道9号線をはじめとする幹線道路が縦横に走り、県内外からの通過車両が多く、沿線には民家が建ち並び生活道路としての役割も果たしています。また、これから冬本番となり、積雪・凍結によるスリップ事故が懸念されます。
当協議会としては、県下で推し進められている「スピードダウン県民運動」「おもてなし交通安全県民運動」に積極的にに関わり、交通マナーの改善を図る所存です。
会員各位の事業所におかれましては、なお一層の交通事故防止に努められますよう祈念しています。



山陽小野田
安全運転管理者協議会
会長 中野 昌広

新年明けましておめでとうございます。
会員の皆様には、平素より当協議会の交通安全活動にご理解、ご協力を賜り心より感謝とお礼を申し上げます。
高齢化社会が進んでいる現在、高齢者が関わる交通事故が多発しています。高齢者が関わる事故を減少させるには、私達が高齢者の動きを予測し、行動することが最善だと考えます。私達の行動で、交通事故を減らせるように、皆様のご協力を頂きたいと思ひます。
本年も交通安全への取り組みに皆様のご協力を願ひ致しまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



厚狭地区
安全運転管理者協議会
会長 永山 純一郎

明けましておめでとうございます。
昨年末には、過分なる褒章を賜りましたが、私に賜ったというより安全運転管理者協議会の皆様を代表しての褒章と心得、感謝しております。
近年、ドライブレコーダーの普及により、ネットやニュース等で痛ましい事故の場面が頻繁に登場するようになりましたが、それらを見て、何故こんな事故が起きたのかと、不謹慎ながら色々な考察をめぐらす習慣が身に付いてしまいました。起きてしまった事故の原因を考え、自分の立場に置き換え、事故防止に役立てられればと考えています。
今年こそ、死亡事故のみならず、交通事故ゼロの地域社会を築くよう頑張りましょう。



小串
安全運転管理者協議会
会長 山田 和則

皆様のご健勝とご多幸を心からお祈り致します。本年もどうぞよろしく願ひ申し上げます。
平素は、多方面にわたり交通安全活動にご協力を賜り厚く御礼申し上げます。
事業主には、企業活動、事業活動を持続的に発展させ、その社会的使命を果たし、従業員やその家族の平穏な生活を守り、業務に邁進できる環境を整備する責務があります。それには、安全運転管理業務の重要性を深く認識し、安全運転管理者がその役割と責務を果たすことができる環境を醸成することが重要ですので、本年も引き続きよろしく願ひ致します。
終わりに、皆様方の益々のご繁栄とご多幸を心よりお祈り申し上げます。



美祿
安全運転管理者協議会
会長 秋山 貴文

明けましておめでとうございます。
平素より、当協議会の活動にご理解とご協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。
旧年は、能登半島において、正月からの大地震、そして夏の大雨被害が発生しました。被災された方のお見舞いを申し上げますと共に、一刻も早く通常の生活に戻るよう祈っております。
異常気象が日常化した昨今では、災害がいつ自分に降りかかってきてもおかしくありません。常日頃からの準備の大切さは災害対策・交通安全対策共に必要なものだと考えます。
このような情勢の中、当協議会としては、市内の企業だけでなく地域の皆様や行政、学校などと連携して交通事故のない明るい豊かな社会の実現に向けて努めていく所存です。本年もよろしく願ひ致します。



長門
安全運転管理者協議会
会長 中村 一男

輝かしい新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。
会員の皆様は、平素より事業所内はもちろん各地域におかれまして、交通事故防止にご努力を頂き、書面にて御礼申し上げます。当長門地区も「交通死亡事故ゼロ」を目指して努力を重ねて参りましたが、自損による死亡事故により、途切れてしまいました。当地区は、北長門国定公園の区域であると共に、下関・長門・美祿・萩の観光ルートにも入っていることから、県内外からの観光客はもちろん海外の人々も多く来られおり、この状況は本年も続くと思ひます。
私どもは皆様の協力を頂きながら「原点回帰」をして、明るく楽しい1年としたいものです。「交通死亡事故ゼロ」を目指して！ガンバロー！



萩地区
安全運転管理者協議会
会長 横山 賢治

令和7年の輝かしい新春を迎え、会員の皆様には謹んでお慶び申し上げます。
また、会員の皆様には、平素から事業所における交通安全管理はもとより、当協議会の活動にご理解ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。
昨今、全国的にも県下的にも高齢者が関係する交通事故が多発しております。地域での高齢者に対する交通安全指導も大切ですが、事業所としても高齢者を守る気運の醸成や高齢者に対する「思いやり運転」を指導することが重要だと考えます。
安全・安心な地域社会実現のために、皆様と共にこの1年も交通安全活動を進めて参りたいと思ひます。終わりに、皆様方の益々のご繁栄とご多幸を心よりお祈り申し上げます。



彦島地区
安全運転管理者協議会
会長 辻中 浩司

新年明けましておめでとうございます。
皆様には、平素より当会の交通安全活動につきまして、ご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。
令和6年は、高齢者の交通死亡事故が多発し、警報・警戒情報が複数回発表されるなど、高齢者の交通事故防止は待たなしの状況です。
また、令和6年11月1日から道路交通法が改正され、自転車の危険な運転に「酒気帯び運転及び補助（手助け）」「ながら運転」の罰則が整備されましたので、各事業所においても、従業員への周知が必要です。
安全運転管理者一人ひとりが、安全運転管理をしっかり、ていねいに行うことが無事故・無違反につながり、そのことが地域住民の安全・安心に、事業所の発展につながるものと考えます。



長府
安全運転管理者協議会
会長 森 誠志朗

新年明けましておめでとうございます。
会員の皆様には、平素から事業所における安全運転管理はもとより、当協議会の活動にご理解とご協力を賜り、厚く感謝と御礼を申し上げます。
昨年は、コロナ禍が終息し、社会活動がほぼ正常に戻ったと思ひます。交通安全活動もほぼ元通りの活動ができたように思ひますが、それに伴い人の流れが活発になり、交通事故件数及び死者数が増加しております。今後も気を引き締めて事故防止に取り組んでいきたいと思ひます。
本年も「交通マナーアップ山口」キャンペーンにおいて「おもてなし交通安全県民運動」「横断歩道ハンドサイン運動」「反射材・ハイビーム活用促進県民運動」「スピードダウン県民運動」を柱に交通安全活動に取り組んでいきたいと思ひますので、引き続き皆様のご理解とご協力を願ひ致します。
終わりに、皆様方の益々のご繁栄とご多幸を心よりお祈り申し上げます。



豊田地区
安全運転管理者協議会
会長 吉村 孝彦

新年明けましておめでとうございます。
昨年も多くの皆様に安全運転にご協力頂き、心より感謝申し上げます。今年も引き続き、事故防止に向けた取り組みを強化して参ります。
年始は、帰省や初詣などで道路の交通量も増え、注意が必要な時期です。また、地域には子どもやお年寄りといった歩行者も多く見られることから、一層の安全確認が重要です。皆様には、速度を控えめにし、周囲に細心の注意を払った運転を心がけて頂きますようお願い申し上げます。
本年も、事故ゼロを目指して共に努めて参りましょう。

各(地区)安管協議会の活動状況



各(地区)安管協議会の活動の一部を紹介します。



下松安管

下松安管では、協議会員を対象に交通安全学習館等において、安全運転管理者等研修会を開催しました。受講者からは「今後の交通事故防止や従業員の安全運転管理に役立てたい」との声が聞かれました。



防府安管

防府安管では、「高齢者の交通事故防止県民運動」期間中、高齢者を対象にセーフティナイトスクールを開催しました。夜間における車のライトの照射実験や夜間に車両が歩行者を発見できる位置の確認を行うなど危険な現象を理解してもらいました。



山口南安管

山口南安管では、きらら博記念公園駐車場において開催された県警察白バイ安全運転競技記録会において、来場者に対して、タックルバンドやキーホルダー等の反射グッズを配布して、夜間における交通事故防止を呼びかけました。



下関・彦島地区安管

下関・彦島地区安管では、「高齢者の交通事故防止県民運動」期間中、JR合同で街頭キャンペーンを実施しました。JR下関駅東口において、駅利用者や通行者に対して、反射材や踏切事故防止のチラシを配布して、市民の交通安全意識の高揚を図りました。

令和6年第二期優秀安全運転事業所表彰

令和6年第二期優秀安全運転事業所として、下記の事業所が銀賞を受賞されました。これらは、従業員20名以上の運転記録証明書の申請をされた事業所の中から、積極的に安全運転管理を推進され「交通違反率と人身事故率が低い」ことが認められて受賞されたものです。

銅賞

岩国警察署長、
自動車安全運転センター
事務所長連名



・岩国安管 (株)ガンシン クレーン事業部
(岩国警察署での表彰：11月7日)

銅賞

周南警察署長、
自動車安全運転センター
事務所長連名



・周南安管 (株)トクビル 開発事業部
・周南安管 (株)トクビル 環境事業部
(周南警察署での表彰：11月12日)

銀賞

警察本部交通部長、
自動車安全運転センター
事務所長連名



・宇部安管 飯森木材(株)
(宇部警察署での表彰：11月13日)

金賞

警察本部長、
自動車安全運転センター
理事長連名

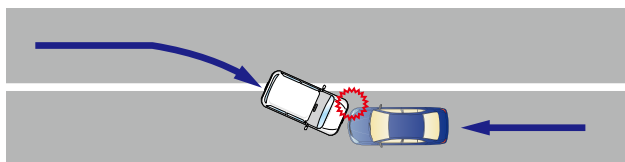


・周南安管 日本計測工業(株) 南陽営業所
・下関安管 (株)サンスパック
・下関安管 学校法人早稲学園附属 早稲自動車学校
(警察本部での表彰：11月14日)

冬の道路での交通事故防止

事故の概要

某日、午前7時頃、某市の国道において、男性が運転する軽四乗用車（走行速度約60km/h）が凍結した路面でスリップし、女性が運転する普通乗用車（走行速度約20km/h）と正面衝突する交通事故が発生しました。



道路環境等

- 晴天
- 直路
- 交通規制 なし
- 山間部の道路
- 路面は凍結状態
- 車両は双方ともにスタッドレスタイヤを装着

検討項目

- この事故の原因は何が考えられるか。
- 同種事故の防止を図るために、安全運転管理者として行う対策は何か。

安全運転管理のアドバイス

1 事故原因

この事故は、軽四乗用車の運転者が凍結した路面を進行中、対向車線にはみ出し、対向の普通乗用車と衝突した事故です。

スタッドレスタイヤを装着していましたが、その性能を過信し、凍結した路面に応じた運転を行わなかったことが、事故原因の一つと考えられます。

2 冬道の交通事故防止

寒さが厳しくなり、路面凍結や降雪・積雪する日も増えて、凍結等によるスリップ事故、降雪による視界不良を原因とする事故など、冬季特有の事故が発生するおそれがあります。

積雪・圧雪・凍結した路面では、スタッドレスタイヤ等の冬用タイヤを全車輪に装着して走行することが、安全運転を確保するための最低限の対策と言えますが、スタッドレスタイヤ等を装着していても、積雪・凍結した道路はスリップしやすいことには変わりありませんので、より慎重な運転操作が必要です。

3 同様の事故を起こさないために

(1) 道路状況に応じた運転

積雪・圧雪・凍結した路面では、スピードは控えめに、車間距離を普段より長めに取って、急発進、急加速、急ブレーキ、急ハンドル等の「急」の付く操作をしない運転をしましょう。

また、積雪・圧雪・凍結では、路面状態は大きく異なります。

特に凍結路面では、少しブレーキを踏んだだけでも、スリップする可能性があります。

スタッドレスタイヤの性能を過信せず、道路状況に応じた確かな運転操作を行いましょう。

なお、現在走っている道路が凍結していなくても、風通しの良い橋の上や山影等の日が当たらない場所、トンネルの出入り口付近のみ凍結しているということもあります。

路面状態の変化に対する警戒心を持ちながら運転することも重要です。

(2) 車両の整備・運転前の準備

スタッドレスタイヤを装着する際は、空気圧やタイヤのひび割れの有無、すり減り具合等を確認しましょう。

運転前には、ガラスについた氷をしっかりと除去し、視界を確保しましょう。

また、車に積もった雪も除去し、運転中に雪の塊を落下させないようにしましょう。

(3) 安全な場所への退避等

運転に危険を感じるような降雪がある場合には、無理に運転を継続することなく、道路外の安全な場所に退避しましょう。

急な天候の変化等によりタイヤチェーンを着脱する場合は、道路外の安全な場所で行いましょう。車道上でのチェーンの着脱は、交通事故の危険があるとともに、他の車両の通行妨害となり、渋滞の原因になります。

(4) 異常気象時等の安全確保の措置

予め気象情報を収集し、運転者及び事業所等の従業員に周知することは、安全運転管理者の重要な業務の一つです。

積雪や凍結が予想されている日は、無理な運行計画を指示することなく、出発時間の変更（余裕を持って早く出発する、凍結している早朝の出発を避ける）、運転経路の変更（凍結しやすいルートを回避する）、他の交通機関を利用するなど、リスクを回避できる方策を検討してください。

積雪や凍結への対策は、早めに行っておきましょう。

山口県の交通事故発生状況

1 11月末の交通事故発生状況

区分	人身事故発生件数	死者数	負傷者数	物損事故発生件数
令和6年11月末	1,943	48	2,301	34,007
令和5年11月末	2,053	28	2,441	33,527
前年比	-110	20	-140	480

2 横断歩道横断中の死者及び負傷者

区分	死者数	負傷者数
令和6年11月末	6	104
令和5年11月末	2	105
前年比	4	-1

3 安管事業所従業員が主原因となった交通事故の発生状況（私用中の事故を含む）

区分	人身事故発生件数	死者数	負傷者数
令和6年11月末	187	5	229
令和5年11月末	282	3	330
前年比	-95	2	-101
構成率	9.6%	10.4%	10.0%

※構成率は、全人身事故発生件数に占める安管事業所従業員が主原因を作った交通事故件数

令和7年交通安全 年間スローガン

- 守ろうよ チャイルドシートで 子の未来
- 危険です ながらスマホで 踏むペダル
- 青だけど 自分の目で見て たしかめて

山口県交通安全協会・山口県安全運転管理者協議会

3月の目標

- 高齡者の交通事故防止県民運動(9日～15日)
- 運転管理支援ツールの活用
- マイカー通勤の事故防止
- 県下統一行動日
- 「反射材・ハイビームの活用」を呼びかける日……………10日(月)
- 「高齡者の交通事故防止」を呼びかける日……………15日(土)
- 安管統一行動日
- 「スピードダウン」を呼びかける日……………26日(水)

山口県交通安全協会

2月の目標

- 運転者の健康管理の徹底
- 安管未選任事業所の一掃
- 県下統一行動日
- 「横断歩道ハンドサイン運動推進」を呼びかける日……………5日(水)
- 安管統一行動日
- 業務用車両一斉点検……………10日(月)

山口県安全運転管理者協議会